

紫波町農業委員会委員の候補者の推薦又は応募の状況一覧

1 推薦を受けた者の数 2名（うち認定農業者の数 0名）

【推薦を受けた者の状況】

番号	農業委員会委員の推薦を受ける者					農業委員会委員を推薦する者						
	氏名	職業	年齢	性別	経歴	農業経営の状況	認定農業者	農地利用最適化推進委員への推薦または応募状況	推薦者名	構成員数	団体の目的	推薦理由
1	横沢 一則	農業	74	男	昭和46年株式会社藤村商会入社 専務取締役で平成29年退職 平成20年手造り工房きくパン副代表(6次産業化平成20年認定) 平成30年アグリ管理士取得 令和元年より農業委員	経営面積 水稲60a 畑10a(工房で加工する原材料の生産) 農業経験16年	—	無	長岡地区農業委員等推薦委員会 代表 阿部 一	24人	長岡地区の行政区長及び農家組合長等により、農業委員及び農地利用最適化推進委員の推薦に関する事	横沢一則さんは、現在進行中の長岡北部地区土地改良事業推進の中心的役割を担っていることと、長岡地区地域計画においても積極的に関り先導的役割を果たしています。また、農業委員としての実績も積み重ね、地域農業事情に精通しています。よって、農地最適化に取り組む農業委員として適任であり推薦するものです。
2	高橋 伸夫	農業	73	男	古館果樹生産組合 理事 古館果樹生産組合 オペレーター 古館地区資源保全会 副会長	経営面積 田 5a 畑 54a(りんご) 農業経験15年	—	無	古館地区農家組合協議会 会長 高橋 治	10人	農家組合間の連携による自主活動の促進と組合との有機的・一体化を図り、以て生産性の高い集落営農と豊かで住みよい地域社会を形成すること	高橋伸夫さんは、古館地区資源保全会の副会長を5年間務め地域の農業事情に精通しています。また、農業委員として5年間農地利用の最適化に取り組んでおり、引き続き活躍が期待できる人であり推薦するものです。

2 応募した者の数 6名（うち認定農業者の数 1名）

【応募した者の状況】

番号	農業委員会委員に応募する者							応募理由	
	氏名	職業	年齢	性別	経歴	農業経営の状況	認定農業者 農地利用最適化推進委員への推薦または応募状況		
1	佐藤 廣志	農業	77	男	権現堂育苗生産組合代表組合長 農業委員 農地調整小委員長	経営面積 水田742a 畑24a 山林600a 農業経験50年 労働力3名 農機具一式 JAライスセンター利用	—	無	農業委員として積極的に活動します。 ・認定農業者への経営対応・農地の利用対応。 ・法人農業者と個人農家との相談等支援 ・地域の耕作放棄地対策への積極的な対応 ・高齢者経営農家に対応、相談に応じたい 以上のような形で委員活動に努力します。
2	千葉 明雄	無職	42	男	平成18年に大学卒業後フリーターとして現在に至る	農業者でない 農業経験はない	—	無	公然の秘密として既に内々で委員は決まっており、応募制は形式上とは言え、毎度岩手大学関係者を中立交員にするのは癒着であると思い応募した。 町外で町内の農地には利害関係はなく、農家でなく、農業経験なく、町内企業とも利害はまほなく、あっても無職であるので実害はなく公正である点から委員として適任であるため。
3	大沼 仁志	農業	64	男	平成22年9月就農 令和5年7月～農業委員 令和6年8月～山王海土地改良区総代	水稲600a	—	無	令和5年から農業委員として農地集積や遊休農地の解消等の活動をしてきた。高齢化や後継者不足が進む中で、農地を守り、有効に活用していく農地行政に今後も関わりたいと思い、再び農業委員に応募しました。
4	岡市 充司	農業	72	男	昭和51年3月東北学院大学経済学部卒業 平成19年3月全国農業協同組合連合会岩手県本部退会 平成20年7月紫波町農業委員 平成21年3月紫波町認定農業者 平成26年7月紫波町農業委員会会長 平成30年4月岩手中央農協農業青色申告会会長	経営面積 水田401a 畑7a 農業機械一式保有 農業経験50年	○	無	これまで農業委員として6期18年（うち会長として4期12年）務めてまいりました。今、農業者がおかれている状況は非常にきびしいものがあるとともに、農業者の高齢化や担い手不足により農地の移動や遊休農地の発生等が増加していくことが懸念されています。これまで以上にいろいろな事案に取り組んで行かなくてはならないと思ひ応募いたしました。
5	岡村 幸男	自営業	78	男	元農業委員 一級建築士事務所主催 走湯神社代表	田1.39ha 畑0.7ha 麦、果物、野菜 農業経験35年	—	有	これからの農業に期待しているため
6	小幡 理人	自営業	43	男	平成20年3月東京農工大学農学部地域生態システム学科卒業 平成20年4月～平成25年7月 ㈱諏訪商店勤務 小売店舗隣の駅にて、産直野菜を含む地域商品の販売、店舗運営に携わる 平成25年7月㈱Life-lab入社 平成26年10月㈱和郷へ転籍（平成27年5月退職） 農業関連企業に対しコンサルティング業務を実施 平成27年7月～令和8年4月㈱セブンイレブンジャパン勤務 経営指導員として複数店舗の販売、商品戦略、数値管理を通じた経営支援を行う	無	—	無	一昨年、前職の異動により、縁あって妻の実家がある紫波町に居住することとなりました。町内で家族が農業を営んでいることもあり地域の現状に触れる中で、担い手不足や遊休農地の増加、流通の問題など、様々な課題があることを実感しています。現在、自営業として地域の産業に寄与する事業を計画し、開業準備を進めています。その一環として、農業分野及び農地利用についても上記課題に対し主体的に関与したいと考え、応募しました。今後は地域の農業の現状や実状を深く理解しながらこれまでの食品・農産物流通の経験を活かし、新たな視点を持ち込むことで持続可能な農業の実現に貢献してまいります。